

# 眼科学と全身疾患特論

## Advanced Course of Ophthalmology and Systemic Disease

### キーワード

- ① 眼科学
- ② 全身疾患
- ③ 糖尿病・高血圧
- ④ 視神経疾患
- ⑤ 神経眼科学（脳腫瘍）

### 授業概要

眼科疾患との関連が強い全身疾患を概説し、全身疾患がどのように感覚器である眼に疾患をもたらすのか、その病態生理を理解する。そして全身疾患の一症状としての歯科疾患もあることを認識する。講義内容としては、眼底は体の中で唯一、直接血管や神経（視神経）そのものを観察でき、そこから、糖尿病、高血圧、また視神経疾患や脳腫瘍などが見つかることもあることから、視神経疾患（虚血性視神経症）と歯の痛み、糖尿病（網膜症）と歯周病など眼科と歯科の関連が深い疾患を理解し、眼科、歯科領域から全身疾患を考察する。

### 授業科目の学修目標

眼科疾患と歯科疾患を含めた全身疾患との関連を理解する。

### 授業計画

- ① 眼科疾患総論 10コマ 槻木恵一
- ② 全身疾患と眼疾患総論 10コマ 槻木恵一
- ③ 糖尿病・高血圧と眼科疾患 5コマ 槻木恵一
- ④ 神経眼科疾患（視神経、脳腫瘍） 5コマ 槻木恵一

### 教科書および参考書

イラスト眼科（Bunkodo Illustrated Basic Series）、文光堂、渡辺 郁緒（著）、新美 勝彦（著）

### 履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

教科書、または参考書の指定された部分を一読し、基礎的な知識を得ておく。

### 大学院生が達成すべき行動目標

- ① 眼科疾患の概要が理解できる。
- ② 全身疾患と眼の関連を理解できる。
- ③ 糖尿病・高血圧による肝疾患を理解できる。
- ④ 視神経、脳腫瘍を含めた神経眼科疾患を理解できる。

### 評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
80%	0%	20%	0%	0%	0%	0%

### 評価の要点

- ・試験による理解度を判定する。1回80%
- ・レポートは指定する全身疾患による眼症状を記載してもらう。1回20%

### 理想的な達成レベルの目安

全体的な達成レベルは70%以上とする。